



# やわらぎ会通信 Vol.52



台風が来る季節になりました。先日の14号も大変でしたね。アメリカでもカトリーナの被害は記憶に新しいと思います。ところでハリケーンにはカトリーナのように人名がつけられることはご存知の方も多いかと思いますが。実はアジアのtyphoon(台風)も2000年から名前がつけられています。台風の場合は自然にちなんだ名前だそうで、台風14号は「ナービー」でした。韓国語で意味は「蝶」です。ちなみに今後の進路が心配な19号は「ローワン」、中国語で意味は「龍の王」です。



## 藤田家の「石田さん」騒動顛末記 その①

その「石田さん」は今年の8月11日に突然我が家にやってきました。

柳井市の沖にある平郡島での小中高生の夏のキャンプの指導に行っていた大学生の娘が、「石田さん」と一緒に帰って来たと言ってつれてきました。ボーイフレンドかと思っ出てみると、何とその「石田さん」は小さな石鯛でした。キャンプの子どもたちが、平郡島の漁師さんからもらった石鯛で、「石田さん」と名づけて飼っていたというのです。キャンプが終わって海に帰そうとしていたのを、娘が「家で飼って来年またつれてくる」と言って広島までつれて帰ったわけです。



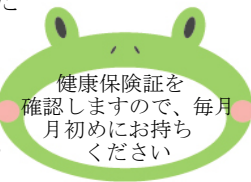
娘と帰宅してきた「石田さん」

最初はたらいに海の水を汲んできていましたが、すぐに汚れてしまうので、次に海水用の水槽を買ってきました。通常、水槽のろ過装置がうまく機能するまでに3週間くらいかかるのですが、すでに「石田さん」は我が家にいるのですから、そうのんびりもしてられません。早速60ℓの人工海水を作って中に入れてやりました。



水槽内をゆうゆう泳ぐ「石田さん」

最初の2週間くらいよかったのですが、体に白いカビのようなものがついて、えさを食べなくなりました。宮島水族館やショップに電話で相談してみると、ろ過機能がまだよくないためだということがわかり、病院用の小さな水槽をもうひとつ買って、別のろ過システムできれいな海水を作りました。その準備が出来たのはあの台風が来た9月6日の夜遅くでした。教えられたとおり、水道水に10秒つけて淡水浴をした後、ヨウ素入りの消毒剤で体をきれいに拭いて新しい水槽に入れてやると、うそのように元気になり、えさも食べるようになりました。つづく。



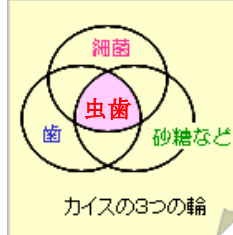
健康保険証を確認しますので、毎月月初めにお持ちください

(新年号から虫歯予防について毎月違った内容で掲載しています)

耳より  
コーナー



## 虫歯予防のポイント



細菌の輪、砂糖の輪を小さくすること  
歯の質を強くすること

今まで砂糖など(横の図の緑色部分)について取り上げてきましたが、今回からは、歯の質を強くすることについて考えてみたいと思います。

歯の質を強くすると聞いて皆さんは何か想像するものがありますか？

そうフッ素がありますね。フッ素というと「こどもの歯に塗るもの」と思いがちですが、いえいえお口の中に歯が存在する限り有効なものなのです。むし歯の予防(大人の場合根面ウ蝕の予防)や知覚過敏に対して効果があります。外国ではフッ素を水道水に添加させて地域でむし歯予防に取り組んだり、フッ素錠剤があると聞きます。私たちの身近にあるものでフッ素を利用できる方法といえば何でしょう。そのひとつに歯磨材があります。最近特にフッ素入りのものが多くなったように思います。歯磨き粉選びの参考にしてみてはいかがでしょうか。



ぺぱーみん

やわらぎ会の待合室でいつも流れている“トム&ジェリー”。スタッフ一同大ファンで私も子供の頃から見ているファンの一人です。何回見ても飽きないし、毎回同じ場面で笑ってしまう、こんなアニメってなかなかないですよ。日本ではサザエさんみたいな感じかな。老若男女問わず皆で見られるところが共通点。実際にこんなドタバタのペットがいたら家の中は大変でしょうが...

いつもトムがジェリーを追いかけているようなのに痛い思いをしているのは圧倒的にトムの方が多い。歯をボロボロに折られても、オープンで真っ赤に焼かれても、冷凍庫でカチカチに凍らされても懲りない。だから私はトム派です。まだきちんと見たことがないという方も、是非一度見てください。きっと好きなシーンが見つかります。ちなみに私のおススメは猫のくせに洋服のように毛皮を脱ぐトム。貧相なトムの体が笑えます。(加藤)



おまけ!



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成17年8月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成17年 9月20日号  
編集発行人 藤田 和也  
編集者 中沖 泰三